

# 目 次

第1部/報告	
変化への対応	1
——集合住宅における環境創造	
Ⅰ 序にかえて——集合住宅と街づくり——	1
Ⅱ 集合住宅をとりまく環境の変化と街づくり	11
1 住宅性能の変化と居住者の入れ替り	11
2 緑地環境の変化と街づくりの目標	15
Ⅲ 集合住宅地の環境創造——課題と展望——	29
1 環境創造の視点	29
2 環境創造の主体と対象	34
① 環境創造を推進する母体	34
② 環境創造の第一歩としての住宅地の管理	38
3 住民による環境創造の展開	50
——鶴川六丁目住宅地における試みの紹介——	
① 住宅地の管理から長期環境整備へ——環境創造のきざし——	50
② 環境創造のビジョンづくり——報告書の発行——	52
③ 街づくりへの住民の関心——報告書の全戸配布とアンケートの実施——	55
④ 「明日を考える六丁目の集い」——住民集会の開催——	58
Ⅳ むすび	64

第2部/座談会

集合住宅における生活と環境 .....65

出席者 本城 和彦 石田 頼房  
奥田 道大 蓑茂寿太郎  
林 玉子  
司会 森村 道美

- 1 住まいやまちは住み手がつくる.....68
- 2 維持の悪い住宅からは経済力のある人から脱出.....69
- 3 戸外空間の創造に気がついた公団住宅.....72
- 4 借家を何軒も移り住んだが・・・.....74
- 5 分譲住宅に住むと心構えが違う.....76
- 6 子供たちの成長でやむをえず1戸建てに・・・.....78
- 7 団地の中や周辺にもう1戸——住み続ける工夫.....79
- 8 社会学の研究対象としての集合住宅——三つの時期.....82
- 9 団地2世族の今後の住まい——住み替えのエリア.....85
- 10 老人が住み続けられる配慮を  
——バリアフリー住宅と住み替えシステム.....88
- 11 老人と地域とのかかわり.....91
- 12 多様な住戸の混在した個性のある団地開発.....96
- 13 自治体は既存集合住宅の維持管理にもっとかかわりを持つべきだ 100
- 14 集合住宅供給者の責任..... 104